



Arcserve Cloud Direct

サービスのご紹介

2024年2月
Arcserve Japan

arcserve®

Rev 2.3

クラウドへのバックアップ、やってみたいけど・・・



拠点毎に
バックアップサーバ購入
は無理！

クラウドでの
構築ノウハウがない

インターネット経由の
転送で大丈夫？

セキュリティ対策
大丈夫？

構築に
時間はかけられない

国内リージョン
じゃないと駄目！

人が足りないから
手間はかけられない

従量課金だと
コストの見積もり方法が
わからない





Arcserve Business Continuity Cloud とは

自然災害などによるサイト障害からデータを守り、
システムを継続利用するための 2 種類のクラウドサービス

Arcserve UDP Cloud Hybrid

ご利用中の Arcserve UDP のデータを
Arcserve が運用するクラウドに複製

災害対策をクラウドでよりシンプルに



Arcserve Cloud Direct

直接クラウドにバックアップ

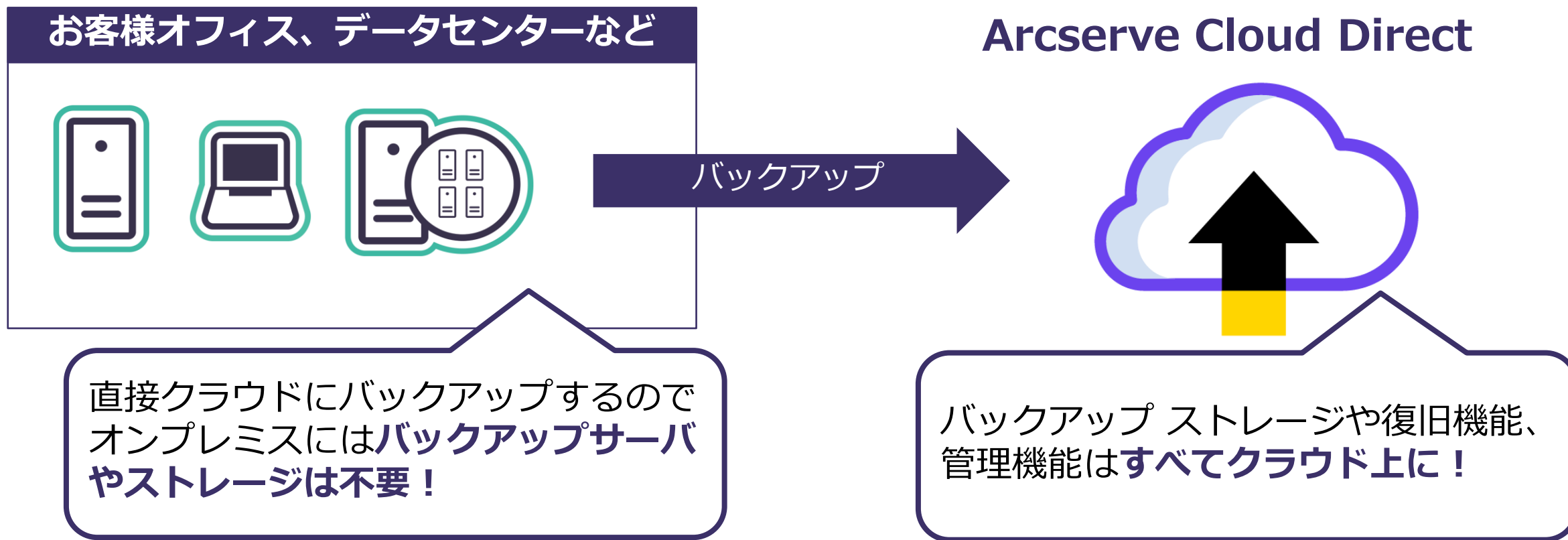
バックアップサーバの管理が難しい
拠点サーバや PC のバックアップに





Arcserve Cloud Direct とは

バックアップに必要なソフトウェアや機能を All in one でまとめて提供する、
ビジネス向けのお手軽クラウド バックアップ サービス (BaaS: Backup as a Service) です。

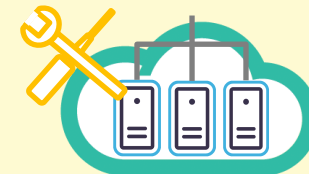


2つのコスト メリットで “はじめやすい”

導入
コスト

クラウドインスタンスの構築/設定作業は一切不要

- ◆ サービス契約後、クラウドを利用したバックアップ運用を すぐに開始 できる状態でクラウドアカウントをご提供します
- ◆ インスタンス構築に関連する 面倒な設定作業は一切不要。
ネットワークやセキュリティも設定済なので、すぐに運用が始められます



ランニング
コスト

ご契約いただいたストレージ範囲内なら台数無制限で保護

- ◆ 転送量に対する 課金がなく、ストレージ課金も年契約で固定なのでコスト見積もりも容易。契約期間中でも 容量増加の追加契約 ができるので契約時の容量が不足して運用を止める心配がありません
- ◆ ストレージやインスタンスのメンテナンスも全てArcserveにお任せ、メンテナンス作業は一切不要です。



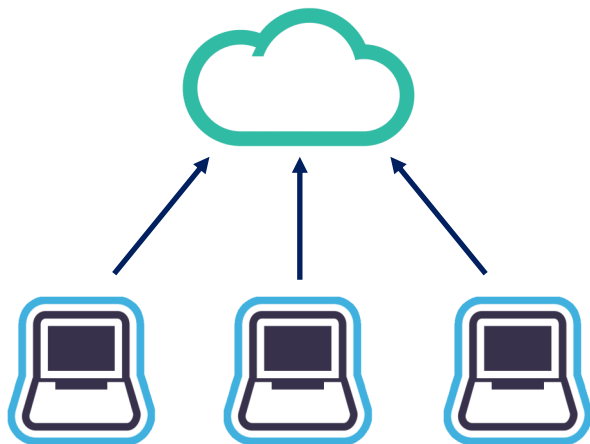


Arcserve Cloud Direct の利用が適している場面

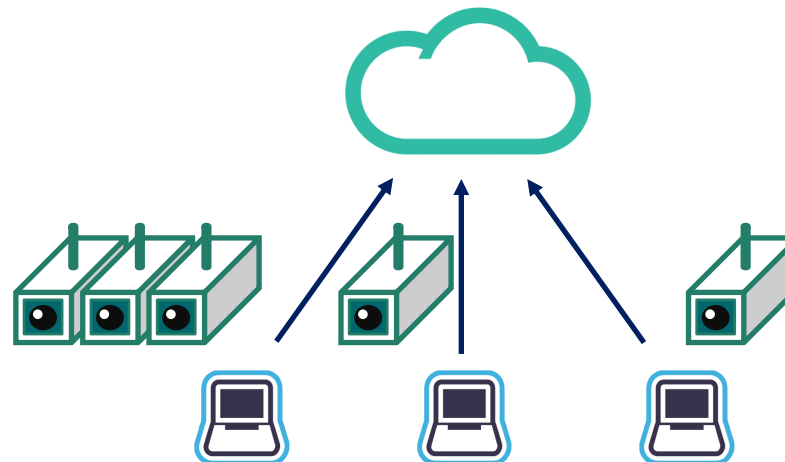
Case1. 複数の拠点から、クラウドに直接バックアップしたい

各拠点ごとにバックアップ サーバの導入不要。直接インターネット経由でバックアップ

例1) テレワーク環境の
PC をバックアップ



例2) 多数の拠点の監視カメラの
画像データをバックアップ

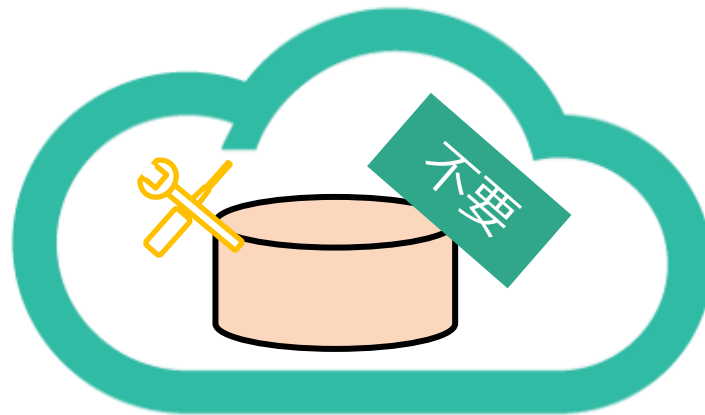




Arcserve Cloud Direct の利用が適している場面（つづき）

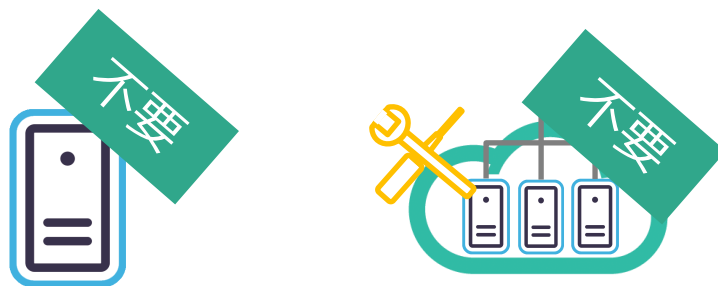
Case2. バックアップを管理できるスタッフがいない

お客様環境やクラウド上のバックアップ デバイスのメンテナンスは不要



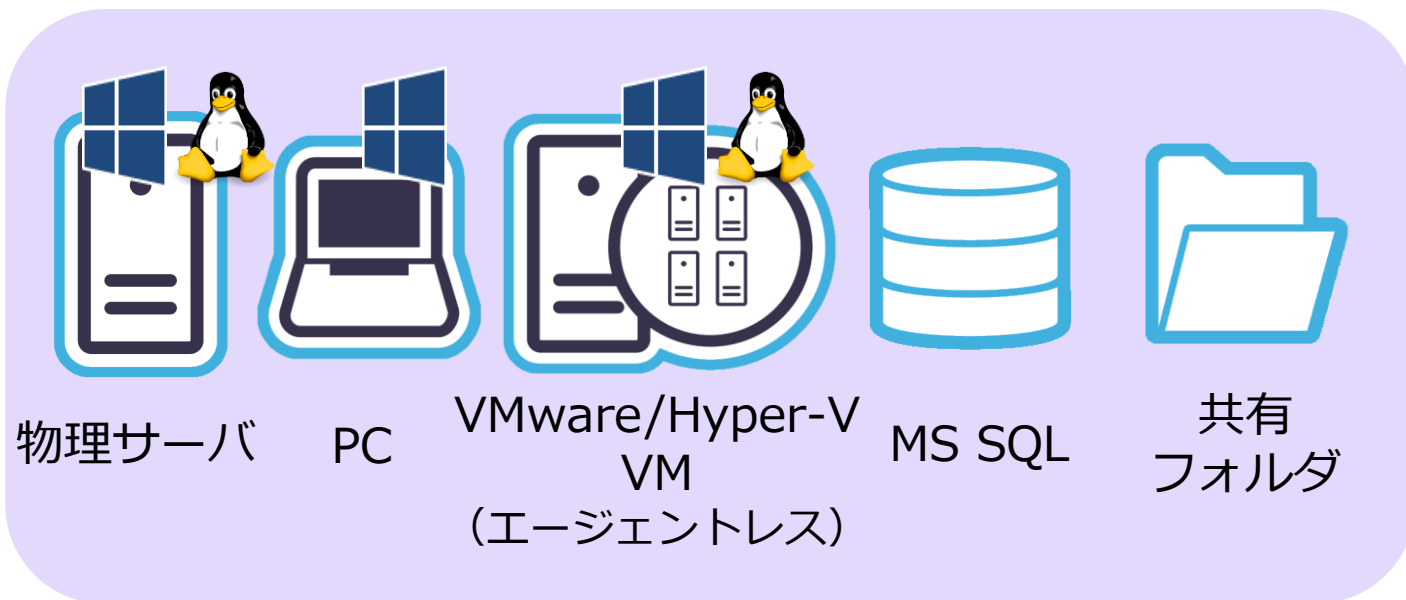
Case3. 導入に時間がかけれられない、すぐにでもバックアップ運用を開始したい

ハードウェアの準備が要らないので、簡単なバックアップ設定だけで即日運用開始

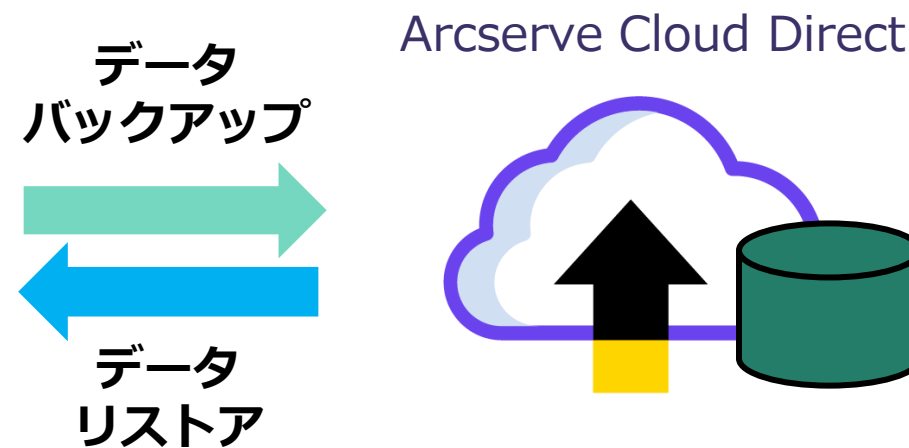


バックアップと復旧の構成

物理や仮想のさまざまなデータをクラウドに直接バックアップ、リストア



※VMware エージェントレス、および共有フォルダはプロキシ経由でバックアップを行います



※復旧は仮想ディスクやファイル単位となります
ベアメタル復旧には未対応です

詳細はスタートアップ ガイドをご参照ください。

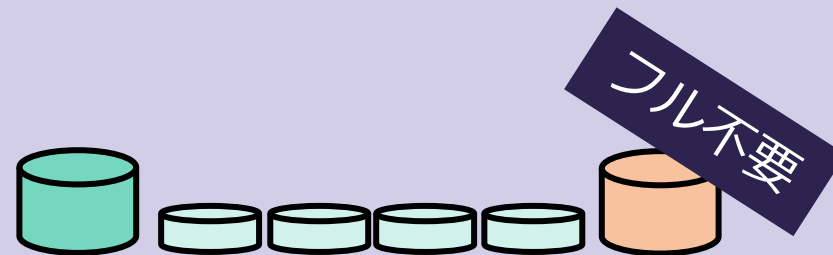
<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center>

クラウドへのバックアップを支える仕組み



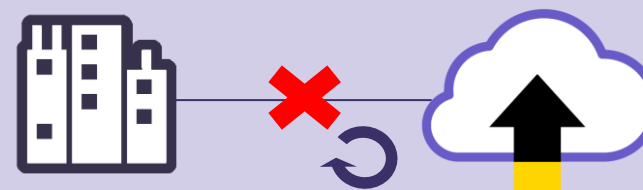
① 少ない転送量でネットワークの負担を軽減

フルバックアップの転送は初回だけで、
2回目以降は増分データだけを圧縮転送。
さらに帯域制御機能で日中の業務影響を軽減。



② ネットワーク障害でも安心

転送失敗時は自動リトライし、
回線復帰後は未送信分の転送を再開。
インターネット経由でもしっかりデータを複製します。



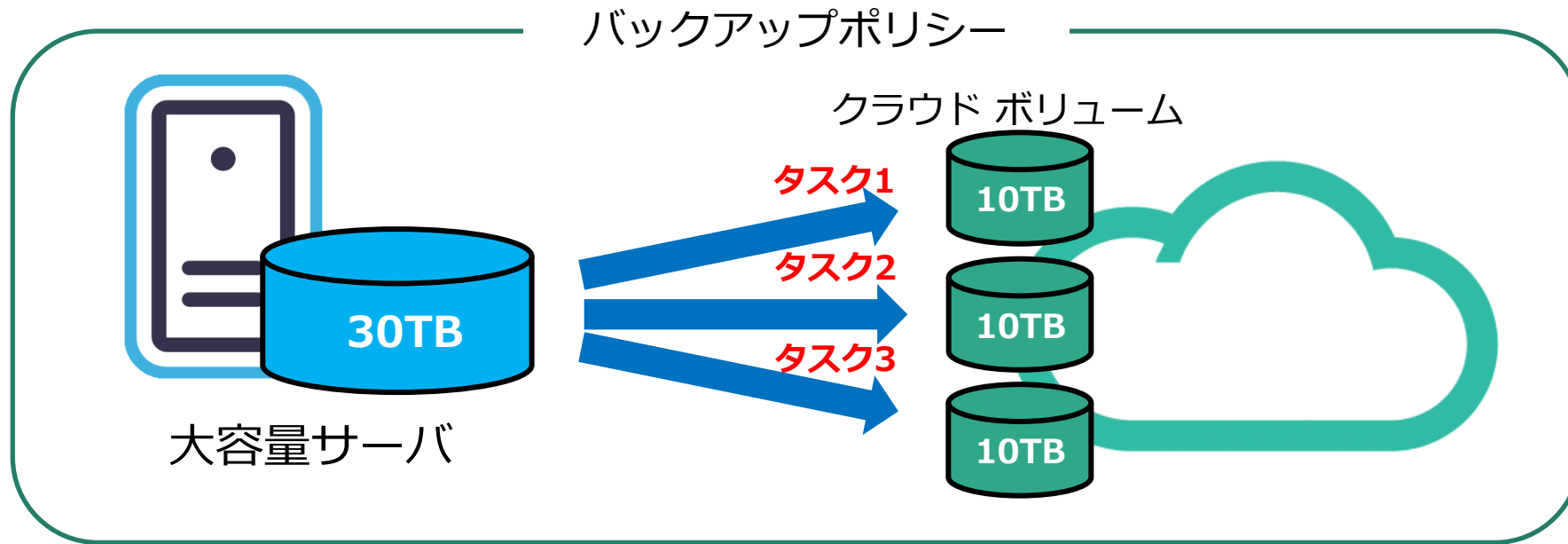
③ データは安全に転送・保存

転送時は SSL(sha384)で暗号化
保管時は AES 128 で暗号化



<参考> 大容量サーバ バックアップのための機能拡張

バックアップ ポリシー内に**複数タスクを定義し、別々のクラウド ボリュームに並列バックアップ!**
数十TBのサーバのバックアップにも対応



※ 1つのアカウントにつき**最大 5つ** までのクラウド ボリュームを作成可能です。

※ パフォーマンスの観点から、1つのクラウド ボリュームに格納するデータは**10TB ~ 20TB** までを目安にしてください。

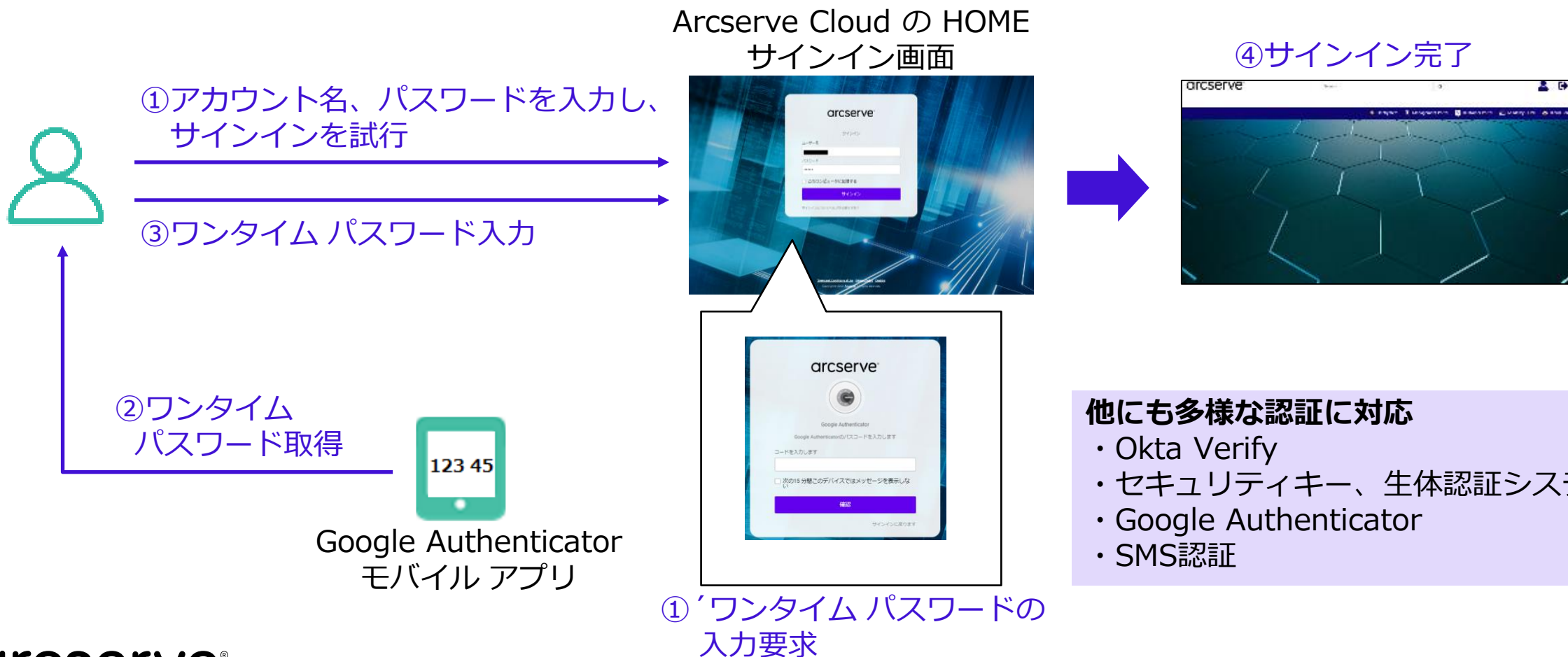
※ バックアップ パフォーマンスはソースのファイル数、読み取り速度、ネットワーク通信速度など、さまざまな要因に影響を受けます。**事前にトライアルでの速度検証をお勧めいたします。**



コンソール アクセス時の多要素認証によりセキュリティを確保

コンソールへの不正アクセスを防止。バックアップデータの破壊/漏洩リスクを低減

例) Google Authenticatorワンタイム パスワードを利用する場合のサインインの流れ





Arcserve Cloud Direct の利用開始までの流れ

サーバ見積もりも構築作業も不要で、
発注からわずか**2営業日**でバックアップ運用を開始！



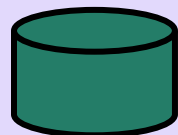


発注するストレージサイズの見積もり方

必要なストレージ容量を確認

ストレージ容量：

フルバックアップサイズ + (増分バックアップサイズ×保存日数に応じた世代数)



+

※増分のサイズは、フルの10~20%で算出します



見積もるポイント！

- ◆ 契約するストレージ容量は保存先のストレージ容量となりますが、圧縮前のサイズで計算します
- ◆ バックアップ対象容量を確認し必要なストレージサイズを見積もり
 - ✓ 任意のファイル/フォルダ
 - ✓ サーバ全体
 - ✓ 任意のドライブ
 - ✓ 仮想マシン

バックアップ先の空き容量が**15%**を下回ると**アラートメール**でお知らせします。

もし容量を超えた場合でも30日以内にストレージを追加契約いただければ、運用はそのままで容量を拡張し継続利用できます。

Arcserve Cloud Direct のセキュリティとデータセンター



- Arcserve Cloud Direct は高いセキュリティ・内部統制監査を受けており、東日本リージョンは SOC2 Type1、北米西海岸リージョンはSOC2 Type2 認定を取得しています。
- **Tier IV** 相当（一部 Tier III 相当）の高いセキュリティ・対災害性を持つデータセンターで運用されています。

**Arcserve
Cloud Direct**
東日本（東京）

- ✓ 国内にデータを保管する要件がある
- ✓ パフォーマンスを重視したい

**Arcserve Cloud
Direct**
北米西海岸
(Santa Clara)

- ✓ 広域災害に備えて海外にデータを保管したい

電源/空調など
設備の冗長化

免震/耐震構造

安全性の高い
立地

厳密な
入館入室管理

Arcserve Cloud Direct 価格

※2024/3/29（金）Arcserve 受注分までの価格です

東日本リージョン

Storage - 1 TB（1年） ￥240,000（税抜き）

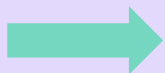
北米西海岸リージョン

Storage - 1 TB（1年） ￥240,000（税抜き）

月額換算
20,000円
/ TB

※ 価格は税抜です。

ライセンス構成例



購入するサービス項目例

- ・ 「Storage - 1 TB」 x8

合計 8 TB までのデータを
バックアップできます。

Arcserve Cloud Direct 価格

※2024/4/1（月）Arcserve 受注分からの価格です



東日本リージョン

Storage - 1 TB（1年） ￥266,000（税抜き）

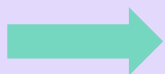
北米西海岸リージョン

Storage - 1 TB（1年） ￥266,000（税抜き）

月額換算
約22,170円
/ TB

※ 価格は税抜です。

ライセンス構成例



購入するサービス項目例

- ・「Storage - 1 TB」x8

合計 8 TB までのデータを
バックアップできます。

Arcserve Cloud Direct で決まり！



拠点毎に
バックアップサーバ購入
は無理！

サーバ
ストレージ不要！

増分、リトライ
帯域制御！

クラウドでの
構築ノウハウがない

構築不要！

インターネット経由の
転送で大丈夫？

構築に
時間はかけられない

セキュリティ対策
大丈夫？

SOC2取得！

国内リージョン
じゃないと駄目！

東日本！

人が足りないから
手間はかけられない

メンテナンス
不要！

従量課金だと
コストの見積もり方法が
わからない

年額固定！

これなら！





ご案内



Arcserve ポータルサイト : www.arcserve.com/jp

カタログセンター（カタログ、技術資料など）

<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center/>

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserve ジャパン ダイレクト（ご購入前のお問い合わせ窓口）

例：「必要なライセンスは？」、「XXXをサポートしますか？」 等等



フリーダイヤル : **0120-410-116**

（平日 9：00～17：30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます）



Webフォーム : <https://www.arcserve.com/jp/about/contact/call-me/>



メールアドレス : JapanDirect@arcserve.com

arcserve®

arcserve Japan合同会社

arcserve.jp

